

(1) 第12回国保匠瑳市民病院改革プラン評価及びあり方検討委員会 会議録

開催日時：平成25年3月6日(水)午後5時15分～午後6時20分

開催場所：国保匠瑳市民病院第1講義室

出席委員：(有識者) 竹原潤 (副委員長)、林吉幸

(匠瑳医師会) 橋場永尚 (委員長)

(市民代表) 岡田陽子

(匠瑳市) 角田道治

(匠瑳市民病院) 海野広道、大嶋博一、渡邊恵

8人/名簿順)

欠席委員：小原吉彰、大塚榮一、本田崇

病院出席者：菊地管理者、宇田副院長、大木看護部長、江波戸医療技術部長

山内事務局長、市原次長、塚本副主幹

1 開 会

2 あいさつ

3 議 題

(1) 事務局報告

① 「国保匠瑳市民病院の今後のあり方について」の提言に係る課題対応状況

② 市会議員との意見交換要旨

(2) 国保匠瑳市民病院改革プラン平成23年度進捗状況等の評価書(案)について

(3) その他

[議長]

年度末のお忙しいところ、ご苦勞様です。予定では任期が今月の3月31日までですので、今日改革プランの評価が全部承認されれば今回で最後になりますし、直さなければならぬところがあれば、もう1回の開催になると思います。いろいろと大変な問題を抱えています、今日もご審議よろしくお願ひします。それでは、議事にはいります。①「国保匠瑳市民病院の今後のあり方について」の提言に係る課題対応状況について事務局から説明をお願いします。

[執行部]

11月の末に「国保匠瑳市民病院の今後のあり方について」というあり方委員会の提言を市長に提出いたしました。提言内容の課題が表にありますように全部で16項目あります。それについて3月6日時点での対応状況をまとめました報告いたします。始めに、実施状況のところに4つの項目、◎、○、△、×とありますが、◎については完了済、○は着手済または実施を継続しているもので、中にはずっと継続しているもので、いつまでも完了しないものもここに入れてあります。△は実施はされていないが現在検討中のもので、未着手のものは×と分けています。それでは中に入りますが、課題は大きく分けると5つ出させていただいておまして、それぞれの課題についての取り組み提言ということでそれぞれ出させていただきました。まず、「新たな医師の確保」の①番、「千葉大学に対する派遣医師の増員要請」につきましても、毎年、夏と冬に事業管理者と私で大学を訪問していますし、事業管理者は講座主催の研修会等に参加しておりますので、これについては実施、継続中であります。次に、「②求人広告掲載の継続、紹介業者からの情報収集と迅速な対応」につい

ては、この1月から紹介サイトから麻酔科の医師を紹介してもらいましたし、求人広告内容の見直しと担当者への連絡は引き続き行っていますので実施継続中であります。次に、「③ホームページの刷新」は、平成25年4月1日に刷新予定でありますので着手済みです。次に、「④奨学金制度の広報活動」ですが、既に昨年の夏に匝瑳高校、成東高校、市立銚子高校へ訪問していますのでこれも実施継続中であります。「⑤市全体としての医師採用活動」については実施しておりませんので、未着手です。次に、「⑥匝瑳市出身医師の情報の洗い出しと招聘活動」ですが、卒業生名簿は入手しております。また、65歳でこの3月に退官予定の関西在住の先生を、大塚委員の紹介で招聘活動を行いました。残念ながら先生の家庭の都合により不調に終わりましたが、招聘活動を行いましたので着手済みであります。次に、「⑦従来の概念から離れた確保対策」ですが、現在平成25年度予算を議会で審議しているところですが、25年度の予算の中に、医師を紹介して、その医師が当院に就職した場合には100万円の報奨金を支払うための予算を計上していますが、予算が可決されていませんので△としました。次に、「⑧病院再編の市レベルでの検討」については、まだ検討に至っておりませんので未着手であります。次に、課題の2番目、「医師、看護師等の離職の防止」の1番「麻酔科医及び宿日直専門の非常勤医師の確保」ですが、先ほどに申しましたように、25年1月から麻酔科非常勤医師を招聘していますので、○といたしました。「②医師事務作業補助者の配置」ですが、これについては、昨年の11月に1名配置しておりますので、実施済みであります。「③シンポジウム開催、各種会合への参加による役割と現状の広報活動」については、平成24年9月に私と看護部長とでロータリークラブの9月の例会に参加して「病院の現状について」の講話をいたしましたので、これについても実施継続中であります。「④広報媒体を利用した診療の実績、医師、看護師等の勤務実態の広報活動」につきましても、ホームページを利用して広報活動をしていこうと思っていますので現在検討中であります。次に、「市民とへの病院の現状の周知と要望の収集」の1番「実情の認識と意見聴取を目的とした懇談会の開催」ですが、平成24年9月にロータリークラブの第9回例会に参加しました。また、議事録を資料として付けてありますが、25年2月21日に市議会議員との意見交換会を実施しております。次に「②職員と患者、家族が意見交換できる『友の会』の創設」ですが、これについては未着手です。次に、「病院建物の新築」の「①病院建物新築の検討」ですが、これについてもまだ検討に至っていないので未着手です。次に、「病院情報システムの構築」の「①オーダリングシステムの更新」ですが、これについても現在審議中の平成25年度の予算に計上していますので、検討中であります。

〔議長〕

現在の状況についての報告がありましたが、この件につきましてどなたか意見がありますか。奨学金制度の広報活動で高校を訪問した時の手ごたえはどうでしたか。

〔執行部〕

教頭先生が対応してくれて、制度は生徒に話してくれるとのことでしたが、医学部に進学を希望する生徒が少ないこともあって、手ごたえはあまりよくありませんでした。

〔委員〕

×の所は、どうしていこうと考えているのですか。

〔執行部〕

「新たな医師の確保」の「⑤市全体としての医師採用活動」については、市としてどういった採用活動をしていただけるかということで、あり方委員会の提言内容について市として何ができるかを検討する組織を立ち上げたところですので、近いうちに検討に入らせていただければと思っています。また、「⑧病院再編」については、匝瑳市だけではなく、他の市町の首長との関係があるので、これについてはこれからの市の課題と考えています。また、「病院の新築」につきましても市議会議員、市長との調整が必要だと思っておりますので軽々には検討に入れないと考えています。議員との懇談会の中でも病院新築ありきと読み取れるという考えを持った議員もおられるので、慎重な対応が必要だ

と考えています。それと「友の会の創設」については、次年度中に検討に入りたいと思っています。

〔委員〕

今事務局長から報告がありましたが、今回の提言を受けて市長部局サイドでは企画課を中心にこの提言の実現に向けた課題は何かという議論を始めた所であり、それをかさねることで整理していると考えています。

〔議長〕

「市民等への病院の現状の周知と要望の収集」の所で、ロータリークラブへ参加されたということですが、雰囲気はどうでしたか。

〔執行部〕

大塚委員がロータリークラブの役員をしているので、例会での話をする機会をいただいて話をしたのですが、反応は、上々だと思っています。ロータリークラブの会員は町の名士が集まっていますので、影響力が強い所で話をさせていただいています。

〔議長〕

現状についての理解はある程度得られましたか。

〔執行部〕

看護部長が診察をして、当直をして、訪問診療をするある医師の1日の動きや病院の玄関のオムツが出ている所や、水が漏っている所をスライドを使って紹介し、また、私が何でこの地域のような田舎で医師がいなくなったかを説明しました。

〔議長〕

積み重ねが大事だと思いますので、機会があればどんどんお願いします。また、引き続き努力をお願いします。続きまして、「②市議会議員との意見交換会の要旨」についてお願いします。

〔執行部〕

もう1枚に「国保匠瑳市民病院の今後のあり方に」係る意見交換会会議録（要旨）を載せてあります。この会議で、病院の現状の説明ということで、収入の減少は医師の数と相対するというのと、収益の増減は外来患者の増減ではなく、入院患者の増減と連動するということを説明したのが1点で、もう1点は、現在の医師の年齢構成が40代以上がほとんどであることと、平日の宿直体制では、朝出勤して、次の日の夕方まで診療するので32時間勤務になっていることを話しました。また、提言書の最後の所の課題になっている所を説明し、意見交換になりました。1番に出てきたのは、救急患者の受け入れがしてもらえないのはどうしてかということで、それに対して、専門分野外や検査ができない時間帯では受けることができない場合があると答えました。一部の議員には理解してもらえなかったが、多くの議員には理解してもらえたのではないかと思います。後は、当院の若い先生が、プロの目線で、手術をするなら旭ではなく当院ですということを言いました。その他、問と回答また、意見を資料に載せました。

〔議長〕

市長に提出した提言書の内容は、議員はある程度知っていたのですか。

〔執行部〕

提言書は、12月議会の閉会に資料一式といっしょに配りましたが、現実的には読んでいない方もかなりいました。

〔議長〕

参加した先生方の感想はどうですか。

〔執行部〕

議員はそれぞれ意見を持っているので、話しても、内容について受け入れてくれない方もいますし、提言書を病院で作ったという方もいた。ドクターは正直な話をしたが、どの位受け取ってもらえたかわからない。

〔議長〕

その他の意見の所に「このような会は開かなければならない」と提言された議員もいるようですし、議員の方に理解してもらわなければならないので、諦めずに何回か話し合いをして分かってもらえればと思います。例えば、旭中央が医師が減っているとか、外来制限をしているのは市議会では知っていたのですか。

〔委員〕

議会の報告では、実態は報告されています。議員団で旭中央が新築された時に視察をしていますので、旭中央の実態を説明されていると思います。

〔議長〕

2次救急を下ろせという意見もあったようですが、何で下ろせないかということについて、理解が足りないよう気がします。後、「今の箱でできるものを検討すべき」とう考えの議員もいるようですが、この建物自体がそもたないことを理解していないのではないかと思いますので、少しずつでもいいからきめ細かく説明していただけたらと思いますし、もし、次の機会があれば私も参加したいと考えています。

〔委員〕

定期的にするということではないのですか。

〔執行部〕

定期的には今の状況では難しいと思います。ただ、1回で十分な話ができたとは思いませんので、近いうちに少なくとももう1回はやりたいと考えています。また、もう1回でいいとも思いませんので、それを積み重ねていく中で、定期的になればと考えますし、そうなった時に良い関係になると思います。

〔委員〕

理解している人を増やすのは、必要なことですし、議員の中で病院が今後必要できちんと対応しなければと思っている人がどれ位いるのかを知るのも必要ではないかと思います。

〔議長〕

建て替えのことになると、予算等で市議会議員の協力がないと難しい点もあると思いますので、なるべくそのような機会を作っていただきたいと思います。他にありますか。

〔委員〕

1回ではなく、何回かやれば分かってくれる方もいると思います。

〔議長〕

それでは議題の(2)「国保匠瑤市民病院改革プラン平成23年度進捗状況等の評価書(案)について」事務局説明願います。

—— 事務局より、評価書(案)についての説明が行われる。 ——

〔議長〕

ただ今の件について、質問等ありますか。当直の専門医は24年度については入っているのですか。

〔執行部〕

今は2人です。それから国の地域医療支援事業で腫瘍内科から月2回第1、第3の土曜日の日直をやってもらっています。土、日の日当直については、まだ結論は出ていないが、増員をしてくれるようお願いしていますので、うまくいくと、月に4回になるかもしれません。

〔議長〕

土、日を手伝ってもらっただけでかなり違うのではないのですか。それなりの経費は掛かりますが、そんなことも言っていられないと思います。県の方に聞きたいのですが、この地区の地域医療再生計画プログラムについて香取海匠地域保健医療協議会で説明にありましたが、実際

に病院の再編についての現在の状況はどうですか。

〔委員代理〕

病院の再編について、県としては、設置している市町村がどう考えているかということで、その方向性が出た段階で県が支援できることがあればしていくこととなっているので、県が再編について動き出すことは今の所はありません。

〔議長〕

入院患者が少ない原因は、何が考えられますか。

〔委員〕

内科については、ぬくもりの郷の施設長が亡くなって、現在宇田副院長が施設長を兼ねているのでほとんど病院にいることができません。実質、1減の中で何とかやっていますが、どうしても減ってしまっています。以前は、入院患者を60人位診ていましたが、今は50人位です。

〔議長〕

新患者数は、どうですか。固定した患者さんだけになってしまうと入院に結びつく確率が減ってくる気がするのですが、新患についてはどうですか。

〔執行部〕

例月のデータから見ると、横ばいだと思います。あまり変動がないと思います。

〔議長〕

月、どの位ですか。

〔執行部〕

23年度の数値ですが、総患者数75,000人のうち、11,000人が新患ですので、約15%です。

〔委員〕

旭で医師不足が出てきて救急の対応が大変で、こちらに回って来る患者さんについては、診れているのですか。

〔執行部〕

去年よりも1日平均の外来患者数が10人近く増えているのが、増えた要因については、はっきりしたものはありませんが、旭から回って来ていると予測しています。

〔議長〕

市内の開業医からの紹介はどれ位ですか。その患者さんは、入院の確立の高い患者さんだと思うのですが。

〔執行部〕

外科は、圧倒的に橋場先生からの紹介が多いです。

〔議長〕

1つ気になったのは、評価書の中で査定率を強化するとありましたが、レセプトの査定率はどの位ですか。

〔執行部〕

今、数字は持っていません。

〔議長〕

旭が今、0.3%台ですが。

〔執行部〕

当院は、もっと低いです。0.2を超えたことは、無いと思います。ただ、査定率をもってきちんとやっているとするのは問題があつて、医事がレセプトを作る時に、安全面を考えて下の点数を取ると査定は下がりますので、その面との兼ね合いがありますが、比較的によく点検をしています

ので、査定率そのものは近隣の中で一番良いと思います。

〔執行部〕

医事の委託業者ですが、今年度プロポーザルを実施しまして、2か月に1回モニタリングをして業務をきちんとしているかチェックしています。その中でやっているのは、返戻や査定があった時に先生の所に持って行って話をすると同時に、診療科ごとに毎月その内容を配って、お金が少しでも損をしないようにしています。また、査定率については、ごたごた言わないからなるべく取れるものを請求するよう言っています。

〔議長〕

わかりました。やはり医師の減は大きいようです。だいたい去年と同じようですが、少しずつ前進していると思われま。ちなみに、24年度上半期で患者の動向や医業収益の面で多少変化はありますか。外来患者が1日平均10人位増えているようですが。

〔執行部〕

上半期までは良かったのですが、12月、1月に来まして、入院患者が昨年に比べかなり落ち込んでいるということで、決算の見通しでいきますと昨年と同額か、ちょっと上回る数字になると思われま。

〔議長〕

ノロウイルスで入院制限をかけたという話を聞きましたが、それも影響があったのですか。

〔執行部〕

収束するまで病院も老健も制限をかけました。蔓延させてしまうと大変ですので防御策を十分にしましたので、その分だけマイナスのなってしまう。

〔議長〕

それでは、皆さんよろしいでしょうか。では次に、(3)その他ですが、何かありますか。無いようでしたら、本日は、最後の会議ごくろうさまでした。